

# MT1040A ネットワークマスタ プロ リリースノート

## 製品構成

変更履歴に記載されている変更対象と対応するモジュールの関係は以下のとおりです。

本体/モジュール	変更対象
MT1040A	[Framework][Remote]
MU104014A	[ETH][OTN][CPRI][FC][SDH/SONET][SDHPDH][GPS][MxH]
MU104015A	
MU104011A	
MU100010A	
MU100011A	
MU100090A	
MU100090B	
MU100020A	[OTDR][FTTA][OLTS]
MU100021A	
MU100022A	
MU100023A	

## 最新ソフトウェア

12.02.MT1040A\_SW

MX100001A-Setup-12.02-xxxxx.exe

MX100003A-2.0.0.60-xxxxx.exe

最新ソフトウェアに対応する取扱説明書の版数は以下の通りです。

取扱説明書	管理番号	版数
MT1040A ネットワークマスタ プロ トランスポートモジュール 取扱説明書	M-W4038AW	9 版
MT1000A /MT1100A/MT1040A ネットワークマスタ プロ リモートスクリプティング取扱説明書	M-W4041AW	7 版
MT1000A ネットワークマスタ プロ トランスポートモジュール 取扱説明書	M-W3933AW	20 版
MT1000A ネットワークマスタ プロ OTDR モジュール 取扱説明書	M-W3810AW	20 版
MT1000A ネットワークマスタ プロ OTDR モジュール リモートスクリプティング取扱説明書	M-W3859AW	8 版
MX100003A シナリオ編集環境キット取扱説明書	M-W4042AW	2 版

## インストール手順

1. バッテリーを使用してインストールする場合は、測定器に搭載されているバッテリーの残量が 40%以上であることを確認してください。
2. USB メモリを MT1040A から抜いてください。
3. 電源ボタンを押して MT1040A をシャットダウンしてください。このとき電源ボタン長押しによる強制電源 Off はしないでください。
4. AC アダプタまたは AC ケーブルを抜き、測定器の電源ボタンの LED が消灯されることを確認してください。
5. ソフトウェア(X.XX.MT1040\_SW) を空の USB メモリにコピーしてください。使用する USB メモリは、FAT32 または NTFS 形式でフォーマットしたものをご使用ください。
6. USB メモリを MT1040A に挿入してください。
7. 電源を On にしてください。

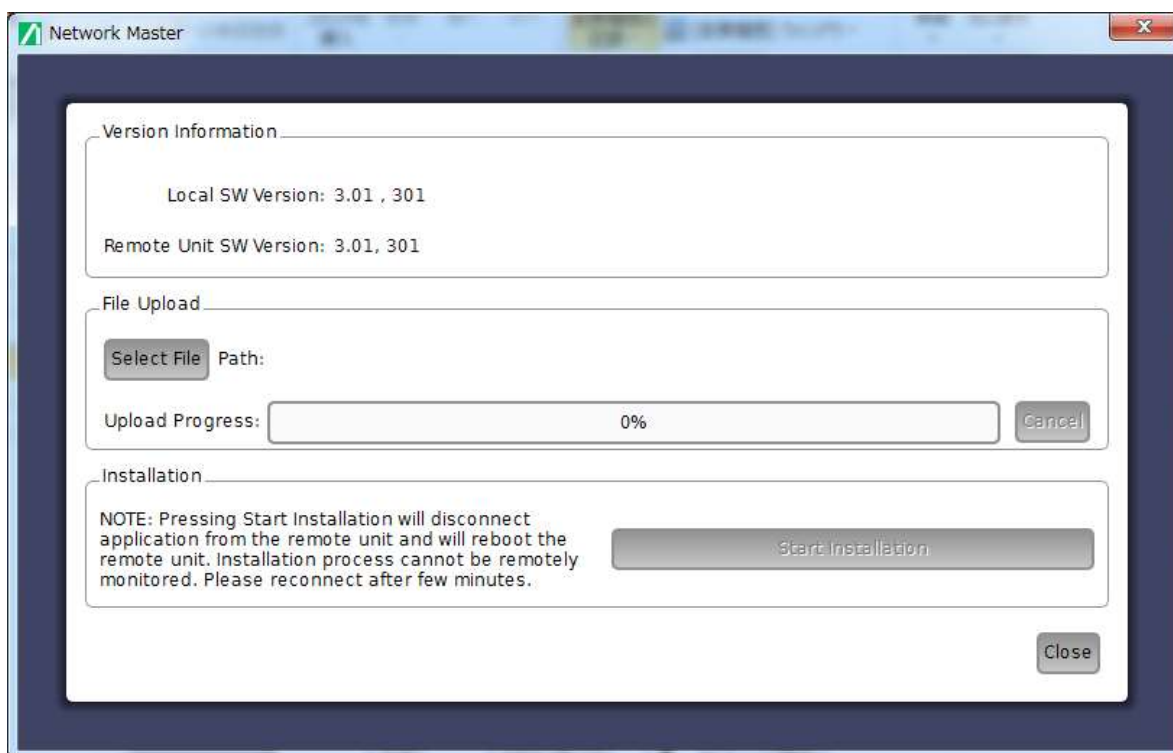
測定器は USB メモリを検出し、インストール処理を開始します。インストール処理が終了すると測定器は再起動し、新しいソフトウェアで動作します。

インストールが完了したら、USB メモリを抜いてください。

インストールされたソフトウェアのバージョンは System Information 画面で確認することができます。

## PC を使ったネットワーク経由でのインストール手順

1. バッテリーを使用してインストールする場合は、測定器に搭載されているバッテリーの残量が 40%以上であることを確認してください。
2. MX100001A コントロールソフトウェア(MX100001A-Setup-X.XX-xxxxx.exe、以下、コントロールソフトウェアという)を PC にインストールし起動します。(インストール方法については MT1040A ネットワークマスタ プロ トランスポートモジュール 取扱説明書“3.4.1 コントロールソフトウェアのインストール”をご参照ください。)
3. コントロールソフトウェアと測定器をイーサネットで通信できるようにします。(接続および設定方法については MT1040A ネットワークマスタ プロ トランスポートモジュール 取扱説明書“3.4.2 接続および設定”をご参照ください。)
4. アップデートタブを選択し、リモートアップグレード画面を表示させます。



5. [Select File]をクリックし、ダイアログボックスを表示させます。
6. ソフトウェア(X.XX.MT1040A\_SW)を選択すると、測定器へソフトウェアのアップロードが開始され、アップロードの進捗がプログレスバーに表示されます。  
なお、[Cancel] をタッチするとアップロードを中止します。
7. アップロードが終わったら、[Start Installation] をクリックしてください。[Start Installation] をタッチすると、測定器が再起動され、インストール処理が開始されます。インストールの進捗はリモートでモニタできません。数分後に再接続をしてください。

## 変更履歴

Version	Date	Description
12.02	2021-08-30	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 追加された主な機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ トランスポートモジュールを 2 つ組み合わせた構成をサポートしました。これにより 1 台で 400GbE 2 ポートや 100GbE 4 ポートの測定が可能となります。(14087)</li> <li>➢ [ETH]MU104014A モジュールにおいて、200GbE の測定機能を追加。(14086)</li> </ul> </li> <li>● 修正されたバグ <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ [Framework] 連続運転中に電源が落ちる不具合を修正しました。V12.00 を使用中の場合は、ファームウェアの更新を行ってください。(14075)</li> <li>➢ [Framework] 電源コネクタ接続の注意を喚起するポップアップが過剰に表示される不具合を修正しました。(14075)</li> <li>➢ QSFP-DD 使用時に、光トランシーバによりコンフィグレーション エラーが発生する不具合を修正しました。(13933)</li> </ul> </li> </ul>
12.00	2021-05-24	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 追加された主な機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ [New HW] MU100090B 高精度 GNSS 同期発振器 モジュールをラインナップに追加しました。 GPS ユーティリティが Galileo, GLONASS, Beidou, QZSS に対応しました。(13901)</li> <li>➢ [Ethernet] タグ VLAN 回線の SyncE に対応しました。(13907)</li> </ul> </li> <li>● 修正されたバグ <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ [Ethernet][MU100011A] QSFP28 と CFP4 のトランシーバ設定において、VOD、Pre、Post、DEF の設定値が異なるレーンに設定される不具合を修正しました。(13851)</li> <li>➢ [Ethernet] IEEE1588v2 のログ出力をして長時間測定するとアプリがクラッシュすることがある不具合を修正しました。(13755)</li> <li>➢ [Ethernet] SyncE のフレームキャプチャ機能において、0 サイズの余分なファイルができることがある不具合を修正しました。(13782)</li> <li>➢ [Framework] 結果フォルダを USB に指定した状態で USB メモリを抜くと、フォルダ指定が正しく設定されない不具合を修正しました。(13880)</li> </ul> </li> </ul>
11.08	2021-03-18 2021-03-30	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 追加/変更された主な機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ [Framework] USB WLAN ドングルによる WLAN 通信機能を追加。</li> <li>➢ [ETH]Reflector アプリケーションにおいて OAM 機能を追加。(13651)</li> </ul> </li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ [ETH] Reflector アプリケーションにおいて、VLAN 付きの ARP と Ping に応答する機能を追加。(12517)</li> <li>➤ [SEEK][Framework][MX109020A] MX109020A に、SEEK のシナリオ実行結果をクラウドサービスやお客様のサーバにアップロードすることができる MX109020A-003 オプションを追加。(13833)</li> <li>➤ [Framework][MX109020A] MX109020A で接続している測定器について、最新のファームウェアにアップデートする機能を追加。(13832)</li> <li>➤ [OTDR ファイバ長チェックの有効/無効の設定を追加。 この設定を有効にすると、測定前にファイバの長さが距離レンジを超えるかを調べ、光パルスの送出間隔を自動で調整することで、イベント点以外の不要な反射の発生を防ぎます。この設定を無効にすると、測定開始までの時間が短縮されます。上記機能は、常時有効となっておりましたが、本バージョンで有効/無効の設定が可能となりました。 言語設定が日本語の場合、バージョンアップにより自動的にデフォルト値の無効に設定されます。(13698)</li> <li>● 修正されたバグ <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ [ETH]400GbE インタフェースにおいて、HighSER を検出しても Link ステータスが正常となる不具合を修正しました。(13645)</li> <li>➤ [ETH]400GbE インタフェースにおいて、Link-down 発生時に Local Fault を検出しない不具合を修正しました。(13562)</li> <li>➤ [ETH][OTN][NoFrame]MU10401xA モジュールにおいて、QSFP-DD/QSFP28/QSFP+ の起動シーケンスを改善しました。(13715)</li> <li>➤ [Wireshark] PC で Wireshark3.4 以降を使用した場合に eCPRI のデコード Lua スクリプトを使用するとエラーとなる不具合を修正しました。(13682)</li> <li>➤ [ETH]1519byte のフレームを over size error と認識させることができない不具合を修正しました。(13679)</li> <li>➤ [SEEK]SEEK 実行時の結果ファイル名に不正な文字(/, !, ?など)が含まれる場合のエラーメッセージを修正しました。(13644)</li> <li>➤ [ETH]RFC2544 アプリケーションにおいて、長時間測定した場合にレポートファイルが正しく生成されない不具合を修正しました。(13507)</li> <li>➤ [SDHPDH] E3 または DS3 インタフェースにおいて、疎通しない不具合を修正しました。(13744)</li> <li>➤ [ETH]IEEE1588 にて、IPv6 の Stateless を実行すると、本器がクラッシュする不具合を修正しました。(13743)</li> <li>➤ [ETH]RFC2544 アプリケーションにおけるバースト試験実行時に、意図せずフレームロスを検出することがある不具合を修正しました。</li> </ul> </li> </ul>
--	--	---

		<p>(12818)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ [RFS]USB マウス接続時に、マウスカーソルが表示されない不具合を修正しました。(13800)</li> <li>➤ [SEEK]MX100003A シナリオ編集環境キットにおいて、MU104011A または MU104015A モジュールが表示されない不具合を修正しました。(13861)</li> </ul>
11.05	2021-02-04	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 追加/変更された主な機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ [Framework]AC アダプタの接続について、注意喚起ダイアログを追加しました。表示される手順に沿ってご使用ください。(13767)</li> </ul> </li> </ul>
11.04	2020-09-30	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 追加/変更された主な機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ [ETH]400GbE の FEC デグレード機能に対応しました。(13620) <ul style="list-style-type: none"> <li>✧ Degradе SER の検出</li> <li>✧ Remote Degradе/Local Degradе の検出/挿入</li> </ul> </li> <li>➤ [ETH]400GbE のインタフェースで、FEC のシンボルエラーステータスのためのシンボルエラーレートしきい値設定の初期値を”1E-6”から”1E-4”に変更しました(13639)</li> </ul> </li> <li>● 修正されたバグ <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ [ETH] 400GbE のフレームロス測定中に、リンクダウンが 1 分以上発生した場合、正常にフレームを受信した後もフレームロスカウンタがカウントし続ける不具合を修正しました。(13577)</li> <li>➤ [ETH]測定結果について、LOFA カウンタの履歴が正しく保存されずにエラー無しになってしまう不具合を修正しました(13624)</li> <li>➤ [ETH][RoE] 25GbE のインタフェースで、下記のフレームサイズでかつラインレートが 80%以上の場合、5byte 未満の IFG が送信する不具合を修正しました。(13559)</li> <li>➤ [ETH] Ping アプリケーションにおいて、数日間など長時間測定した後で PDF レポート出力するとアプリケーションが落ちる不具合を修正しました(13410)</li> <li>➤ [ETH] Ping アプリケーションにおいて、数日間など長時間測定した後で PDF レポート出力するとデータが欠落したファイルが生成される不具合を修正しました(13408)</li> <li>➤ [CPRI/OBSAI]起動時やファイルロード時にビットレートが正しく設定されない不具合を修正しました。(13612)</li> <li>➤ 下記のセキュリティ上の脆弱性を解消しました。(13544) <ul style="list-style-type: none"> <li>✧ - MT1000A/MT1100A/MT1040A の GUI システムである X11 サーバが、制約無くホストからの接続を受け付ける</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
11.03	2020-08-11	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 追加された主な機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ [New HW]MT1040A のラインナップに下記のモジュールを追加。 MU104015A 400G(OSFP) マルチレートモジュール</li> </ul> </li> </ul>

		<p>MU104011A 100G マルチレートモジュール</p> <p>MU100010A 10G マルチレートモジュール</p> <p>MU100011A 100G マルチレートモジュール</p> <p>MU100020A OTDR モジュール 1310/1550nm SMF</p> <p>MU100021A OTDR モジュール 1310/1550/850/1300nm SMF/MMF</p> <p>MU100022A OTDR モジュール 1310/1550/1625nm SMF</p> <p>MU100023A OTDR モジュール 1310/1550/1650nm SMF</p> <p>MU100090A 高精度 GPS 同期発振器</p> <p>➤ MX109020A Site Over Remote Access 接続に対応しました。</p> <p>MT1040A-011 オプションを搭載することで、MX109020A を使って遠隔制御やファイルのやり取りが出来るようになります。</p> <p>● 修正されたバグ</p> <p>[ETH] PING アプリケーションで、インタフェース設定を 400GbE にして、試験を行うと、正常に受信しない(すべて消失となる)不具合を修正。</p>
11.02	2020-05-25	<p>● 修正されたバグ</p> <p>➤ [Framework]『全データ初期化を初期化』のボタンを押下し実施すると初期化が完了せず、画面が処理中のままになってしまう不具合を修正。</p> <p>➤ [ETH] BERT アプリケーションで、インタフェース設定を 400GbE にて行うと、シーケンススキップエラーがカウントしない不具合を修正。</p>
11.01	2020-05-15	<p>● 次の製品に対応した最初のリリース:</p> <p>➤ MT1040A ネットワークマスタ プロ</p> <p>➤ MU104014A 400G(QSFP-DD) マルチレートモジュール</p>



## 既知の不具合

Module	Version	Description
MT1040A MU104014A MU104015A MU104011A MU100010A MU100011A	V12.02	<ul style="list-style-type: none"> <li>● [ETH] [MxH] Ethernet または eCPRI/RoE の BERT アプリにおいて、UDP を含むパケットの測定時に送信元ポートの設定と異なる宛先ポートの UDP パケットを受け取ると画面が固まることがあります。本不具合は、Port1 のみ発生します。本不具合が発生した場合、MT1040A を再起動してください。(12575)</li> <li>● [ETH] 463 バイト以上のパケット長のエラーを含んだ ICMP リプライパケットを受信してもエラーとして認識しない不具合があります。(12819)</li> <li>● [ETH][OTN][SDH][CPRI/RoE][FC] レポート出力にイベントログを含める設定にして、CSV 形式で出力すると、クラッシュすることがあります。現象が発生した場合には、レポート出力にイベントログを含めない設定に変更し、出力してください。イベントログの CSV 出力に関しては、イベントログ結果画面の CSV 出力をご利用ください。(13579)</li> <li>● [ETH] v7.01 以降の Mon/Gen アプリにおいて、バースト送信が設定通りのバースト間隔にならない不具合があります。(13893)</li> <li>● [ETH] Ethernet BERT アプリにおいて、長時間測定後の測定停止時にステータスアラームが発生する不具合があります。テスト設定の BERT オプションにて、下記オプションを有効にすることで回避できます。(14090) <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 測定時にのみ BER アラームを表示する</li> <li>➢ BERT 測定結果のフレームロス秒を無視する</li> </ul> </li> <li>● [ETH] Ping アプリケーションにおいて、IPv6 使用時に測定結果を PDF レポート出力すると、ポート設定情報欄に IPv6 ではなく IPv4 の設定が出力される不具合があります(14083)</li> </ul>